

7 詩1 詩の種類	
組	
番号	
氏名	

1 次の詩を読んで、詩の種類について説明した各文の
あてはまる言葉を答えなさい。

あどけない話
高村光太郎

智恵子は東京に空が無いといふ、
ほんとの空が見たいといふ。
私は驚いて空を見る。
桜若葉の間に在るのは、
切つても切れない
おかしなじみのきれいな空だ。
どんよりけむる地平のぼかしは
うすも色の朝のしめりだ。
智恵子は遠くを見ながら言ふ。
阿多羅山あたらやまの山の上に
毎日出てある青い空が
智恵子のほんとの空だといふ。
あどけない空の話である。

注読み方は「こうじ」。

① 現代の話し言葉を使って書かれているので **口語** 詩である。

② 一行の音数にきまりがないので **自由** 詩である。

③ この詩の種類は、 **口語自由詩** である。

2

次の詩を読んで、詩の種類について説明した各文の
あてはまる言葉を答えなさい。

相聞 さうもん

芥川龍之介

また立ちかへる水無月の
歎きを誰に語るべき。
沙羅のみづ枝に花さけば、
かなしき人の目ぞみゆる。

① 昔の書き言葉を使って書かれているので

文語

詩である。

② 各行の音数にきまりがあるので

定型

詩である。

③ 各行は七音と五音から成り立っているのでこの詩は
の詩である。

七五

調

④ この詩の種類は

文語定型詩

である。